

2026年度大会申し合わせ事項

本大会は、2026年度オフィシャルソフトボール・ルールによって実施する。

但し、その運用に当たっては、下記事項の本大会の申し合わせ事項とする。

※ 2026年度の参加資格は、昭和34年3月31日以前に生まれた者とする。

※ 北日本古希ソフトボール親善交流<宮城>大会の参加年齢資格は、連盟規約に準ずる。

1. 試合は、リーグ戦総当たり、前・後期戦を実施する。
2. 打順表には、ベンチ入り選手を記載し(選手はフルネーム、控え選手は苗字だけでもよい)3部提出とする。打順表記載漏れの選手でも、登録選手は試合中いつでも追加し、出場できる。
3. 試合方法は、5回戦とし、70分を超えて新しいイニングに入らないものとする。
4. 一・三塁のベースコーチは、ヘルメットを着用してもしなくても良い。
5. 5回終了時または70分経過後に同点の場合は、引き分けとする。
6. 得点差によるコールドゲームは採用しない。
7. リーグ戦最終順位は勝率の高い順【 $\text{勝数} \div (\text{勝数} + \text{負数}) = \text{勝率}$ 】で決定する。
  - ①リーグ戦(前・後期毎)終了後に同率が発生した場合の処置
    - a 当該チームの対戦勝率が高いチームを上位とする。
    - b 当該チームが同率の場合、ブロック編成表の上位チームを優先する。
8. 一球場で3試合の運営をするため、当日選手不足の場合でも棄権はしないこと(対戦チームや審判チーム等からの援軍を受けて試合を行うことが出来る)この場合の点数配分は下記の通りとする。
  - ① 片方のチームだけ援軍を受けた場合
    - a 援軍を受けたチームは勝っても不戦敗(0-7)
    - b 援軍なしのチームは負けても不戦勝(7-0)
  - ② 両方のチームとも援軍を受けた場合、両チームとも不戦敗
9. 総合優勝決定戦は行わない。

※順位決定はシニアソフト連盟大会申し合わせ事項に準ずる。
10. 試合の運営に当たっては、次の通り行うものとする。
  - ① 試合前のグラウンド造りは、◎印チームが主体となり対戦当事者チームと審判員が協力して行うこと。
  - ② ベース、メジャー、ラインカー等は、原則として試合予定表の ◎ チームが準備すること。但し、石灰は試合会場を保有するチームが準備し、費用は連盟負担とする。
  - ③ 試合球は、対戦当事者チームが2個(使用球:マルエス)ずつ出し合うこと。

- ④ 試合終了後のグラウンド整備は、両チームで速やかに行い、次の試合に引き継ぐこと。
  - ⑤ 試合に当たっては、審判員に一切の権限があることを認識して、試合に臨むこと。
  - ⑥ 雨天で試合続行が不可能になった場合は、3回裏をもって試合成立とするが、その回に達していない場合は引き分けとする。
  - ⑦ 試合開始時刻に、試合人数に達しないチームは不戦敗(0-7)とする。
  - ⑧ 雨天・ウラウンド不良による中止は全て引分とする。
  - ⑨ 試合予定表の ● 印の審判チームは、試合結果報告書を回収し、連盟担当者に報告すること。(古希部担当者はまとめて連盟担当者に報告すること)
  - ⑩ ●印の審判チームは、用具の収納について、整理・整頓状況を確認すること。
11. 雨天またはグラウンドコンディション不良により、試合の実施が不可能な場合の処置については次の通りとする。
- ① 試合が明らかに実施不可能な場合は、前日または早朝に古希部担当員から、試合予定表の各グラウンドの ◎ 印チームに中止連絡をするので、◎ 印チームは速やかに試合予定の2チームに試合の中止を伝達すること(審判担当チームを含む)。  
従って、事前に中止の連絡がない場合は、グラウンドに集合すること。
  - ② 当日、試合会場で中止を決定する場合は、審判員が当該対戦チームの人数の確認し試合人数(9人)に満たないチームは、不戦敗として取扱い、両チームともに試合人数に達しているときは、引分とする。  
なお、この場合、その試合以降の試合も中止する時は、試合予定表の ◎ 印チームは、同グラウンドの後続の試合予定チームに、中止の連絡をすること。